

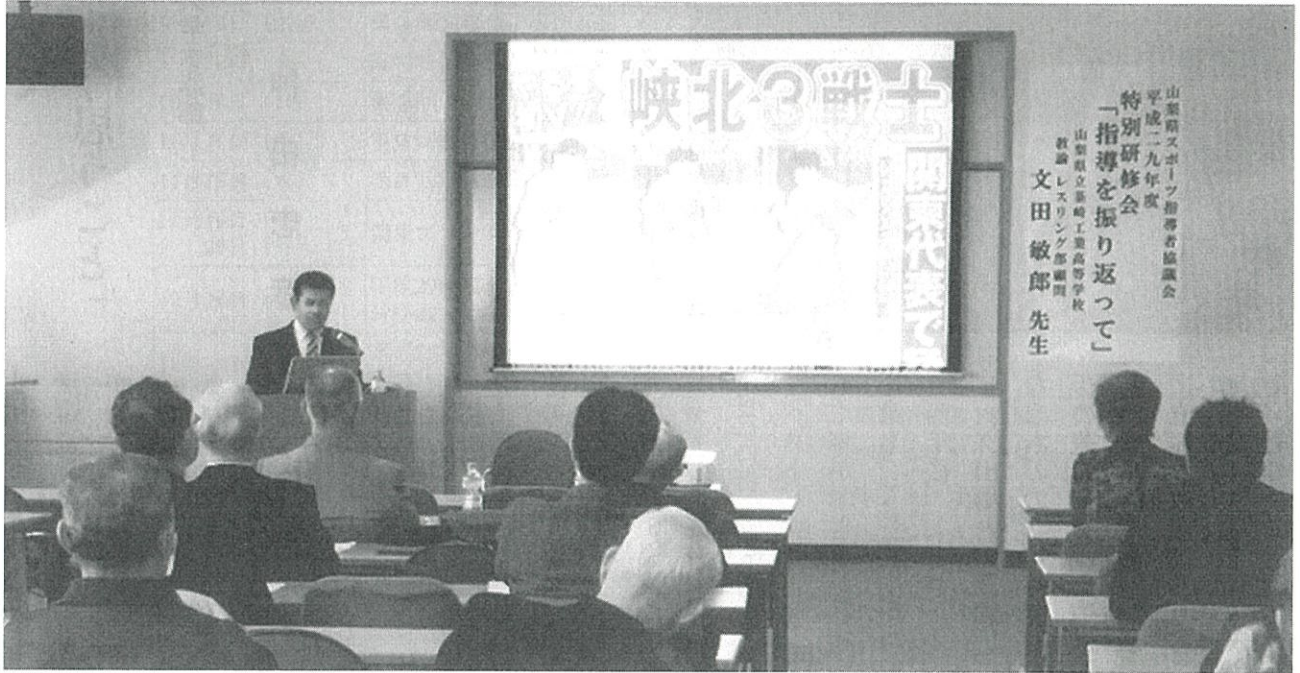
公益財団法人 日本体育協会公認  
山梨県スポーツ指導者協議会

# 会報

第28号(平成30年3月発刊)

## 目次

会長あいさつ	1
選手指導を振り返って今思うこと	2
リオ五輪女子柔道銅メダリスト 山部佳苗を育成した指導	3
研修会の報告	4~5
南都留支部研修会報告	6
山梨県スポーツ指導者協議会表彰	7
日本体育協会公認スポーツ指導者表彰	8
事業報告・事業計画	9



平成29年度山梨県スポーツ指導者協議会特別研修会 (H30.2.25)

## あいさつ



会長 若尾重廣

- ・柔道コーチ
- ・空手道上級コーチ
- ・ジュニアスポーツ指導者
- ・アシスタントマネージャー

日体協からの補助金停止により中断した関東ブロック指導者協議会を自分たちの力で再生を...と関東各都県代表者が二度にわたり日体協に集まり、指導を頂きながら自立の方向で検討、平成二四年四月より施行する会則等を作成、第一回(群馬県伊香保)第二回(神奈川県箱根)研修会を経て、第三回は山梨県石和に決定、昨年十一月十九日二十日で実施した。事務局をおく山梨県体育協会の指導のもと、過去二回の懇親会的な色合いの強い研修会を改め、本県協議会が主管となり研修会を開催することとなった。このことから執行部会を臨時で開き、内容について協議し開催に向け準備を進めた。第一日目

は山梨学院大学准教授 長倉富貴氏による「スポーツボランティアについて」の講演をおこない、指導者としての資質向上を図った。講演後は研究討議が行われ、事前に集約した活動状況、課題・問題点を基に、各都県ごとに報告を行い、各都県の問題解決について研究協議を行った。二日目は前日の研究討議の内容をまとめ、関東ブロックとして共有を図った。最後に関東ブロックスポーツ指導者協議会 結成記念講演会・式典の開催の伝達があった。

末筆になりましたが、執行部会、理事会の先生方、年会費を納入された公認指導者の皆様方の絶大なるご支援に心から感謝申し上げます。

# 「選手指導を振り返って 今思うこと」



山梨学院大学水泳部

監督

神田 忠彦

二十三才からスイミング

クラブでの指導を皮切りに

コーチ業が始まった。気が

付けば三十六年間指導者と

しての道を歩んでいる。そ

んな中、時に素晴らしい素

質を持った子供達に

巡り会う事がある。

現在、多角的に活躍

をされている萩原智

子さん「ハギトモ」

もその中の一人であ

った。

彼女を小学校二年

生八才から指導をさ

せていただく機会に

恵まれた。日本人離

れたスケールや水

中でのセンスどれも



ピカーであった。

アトラントオリンピック

当時はまだ中学三年生だっ

たが二〇〇m背泳ぎでは、

世界ランキングもかなり高

く、メディアや周囲からは

オリンピック出場とその活躍に過剰なほどの期待が寄せられていた。しかしながら、選考会では次点となり代表入りを果たせなかった。表彰式での失意の彼女の姿が未だに消えない。指導者の経験不足の一言につきるが、確実に代表を狙うのにはライバルをどう打ち負かすのではなく選手とコーチが一体になり、経験した事もない過度なプレッシャーの大舞台で、如何に「自己に打ち勝ち」どうやってベストパフォーマンスで泳ぐ事ができるかと言う事を身もって経験した。

四年後、シドニーオリンピック出場という願いはかなうものの、本番ではタッチの差でメダルを逃す四位という順位であったが、実に立派な成績であり担当指導者としても彼女の頑張りを、その後の活躍に拍手を送りたい。



二〇〇一年からは指導対象を大学に移し成熟期の選手層を指導出来る幸運から、長田友喜子選手（アトランタ）・加藤ゆか選手（北京）・加藤和選手・鈴木聡美選手（ロンドン）・江原騎士選手（リオ）と五大会連続で素晴らしい出会いに恵まれた。これらの結果は全てがアトラントオリンピック選考会での敗退が糧になっている。水泳は積み重ねであり、努力の一つ一つが結果として表れる。全ての結果は数字という無情の客観的評価となり、この厳しさが水泳競技の魅力の一つでもあるが、水を媒体とする運動なので年齢や体力にも関係なく生涯スポーツとして誰でもいつまでも行う事のできる人に優しい素晴らしいスポーツである。選手育成に携わりながらも水泳の更なる発展と普及（学校教育も含め）を願いながら、微力ではあるが水泳の素晴らしさを多角的に伝えていきたい。特に大学スポーツでは青春の一頁を仲間と共有し合い同じ目的に向け過ごす限られた時間である。これからは許される限り現場での指導を行い若者との共有時間を過ごして行きたい。



# 「リオ五輪 女子柔道 銅メダリスト 山部佳苗を育成した指導」



山梨学院大学柔道部  
女子監督

山部 伸敏

リオ五輪国内最終選考会、部員四十三名と横浜文化体育館に応援に行き決勝戦で山部佳苗が一本勝ちした時、周りはこれでオリンピック出場が決定したように湧く中、私だけはまだまだ強化委員会の発表があるまで確信が持てなかった。

大会後、山梨まで部員を乗せたバスを運転している中、佳苗から電話があり「先生、代表決まりました！これから取材に行ってきたす。」という吉報をもらった時は、思わず運転しているのを忘れ、バスのハンドルを離し部員全員で万歳の感動であった。

彼女を最初に見たのは、

高校二年の佐賀インターハイであった。縦横バランスのとれた体格、姿勢よくしつかり組んで立って投技を掛ける柔道スタイル、重量級に多い身体ごと相手を巻いて投げるようなものが見えなかった。その柔道を見た時「この子はひよつとする

と、とんでもない選手になるのでは」と将来性を感じた。試合は準決勝で敗退したが、大会後、声を掛け「よい柔道をするな、負けたくないよ」と話をし、私も名前を山部だからと言った時、「ニコッ」とした笑顔は今で

も忘れえぬ思い出である。そのような縁もあり、山学に進学してくれたが、彼女の課題は体力(筋力、パワー)とメンタル面であった。私とはとにかく力がつけば彼女の持っている技術がさらに生きてくると考え、パワー

トレーニング、苦手なラニングトレーニングを特に大学一年から三年は体力的な強化を図った。彼女の性格上、頭ごなしにやらせる指導では心に響かないので、山本五十六ではないが、「やって見せて、言ってみせて、やらせて見て、褒めてやらねば、人は動かず」

の気持ちで四年間接していたように思う。四年時にはあえて主将に指名し、チームのために責任感と自覚を持たせ、自分から逃げない立場にし、その結果、人間的にも成長してくれ、学生最後の年に、皇后杯全日本女子柔道選手権大会で日本

一を獲得する選手となった。就職は尊敬する新谷 翠コーチのいるミキハウスに進み、それから新谷コーチが師となり母となり姉となり二人三脚でリオ五輪銅メダルを獲得してくれた。

最後に、私がメダリスト山部佳苗を育成したというより、良い選手に巡り合い、私自身が指導者として勉強でき、多くの感動をもらったことに感謝の気持ちしかないと考えている。



# 研修会の報告

## 「第一回スポーツ指導者 研修会に参加して」

東山梨支部  
上野 清子  
(弓道指導員)



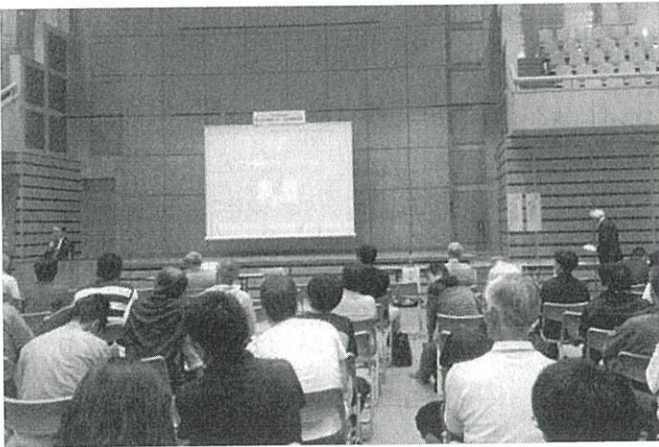
今回の講習会は、私にとつてとても勉強になった。大東文化大学の森先生は、スポーツをしている時の指導者の暴力、体罰について話をされ、指導者がそれを躰やスポーツ指導だという思いが有るとしたら、効果の錯覚による事が多く、スポーツは勝利至上主義だけでなく、仲間意識や

体力の相違などへの配慮が必要であることを伝えて下さった。

国立甲府病院 萩野先生は怪我や障害は早期に治療し、リハビリを行えば元に近い状態に回復できることを示してくれた。

私のしている弓道は、時に凶器にもなり得るものである。特に初心者への指導が重要である。弓道の場合、「教本」があり、それに基づき技術や競技に対する心得を学べるが、どのスポーツにも教本なようなものがあるとは限らな

い。したがって、競技の技術や競技の心得を指導者がしっかりと教えなければならぬ。今、私は後期高齢者であるが、怪我なくスポーツを楽しんでもらいたいという思いで、道場に足を運び指導をしている。



## 「第二回スポーツ指導者 研修会に参加して」

峡南支部  
石川 君 男  
(スポーツプログラマー)



平成二十九年六月十日(土) 富士川町民会館において標記の研修会が開催された。

スポーツ指導者の資格更新新时期でもあったので、久しぶりの参加であった。第一部では、「スポーツ指導における暴力行為の根絶へ向けて」というタイトルで、大東文化大学の森浩寿先生の御講演であった。「スポーツ指導における暴力・体罰がなぜだめなのか」「学校教育法の十一条(体罰の禁止)」「体罰の定義・解釈」「体

罰が繰り返される構造・・・指導者の問題、児童生徒自身の問題、体罰を容認する社会風土」「体罰が禁止される理由」「体罰禁止・体罰根絶へ向けての取組」「グッドコーチに求められる資質能力」などの項目に沿って、とてもわかりやすく御説明いただいた。

現在中学校に勤務している身として、スポーツ指導者としてだけでなく「教師として」という視点からも、とてもタイムリーな研修であった。この研修成果を少しでも勤務校に、私自身のスポーツ指導に反映させていきたいと思う。



### 「第三回スポーツ指導者 研修会に参加して」

南都留支部

幡野 佳奈

(スポーツプログラマー)



第一部は「スポーツ指導における暴力行為の根絶に向けて」と題する、森浩寿先生による講演であった。指導者の役割として、どういふ大人(選手)に育てたいのか、という言葉が特に印象に残った。体罰を受け続けた子供は、行き過ぎた指導による継続的な不快刺激により脳機能が低下し、パフォーマンスが低下してしまうこと。すべてのプレーが監督の指示によるため、指示なしでプレーが出来なくなってしまうことを知り、

スポーツを通じ一人一人が考え、「自立」を学ぶことが出来るような指導が重要であることを学んだ。

第二部は「スポーツ障害

からの復帰 膝の疾患(障害) 治療最前線」と題する、萩野哲男先生による講演であった。膝関節の構造や日本の医療技術を、普段見ることのできない専門的な映像を交えて説明してくださった。膝関節鏡手術や膝軟骨再生医療など、日本には世界に誇れる医療技術がある。常に世界をリードしながら進んできた日本の医療。とても興味深いものであった。二名の先生方、ありがとうございました。



### 「山梨県スポーツ指導者 協議会特別研修会に 参加して」

南都留支部

三浦 直樹

(プロテニス教師)



山梨県初のオリンピック金メダリスト米満達弘選手の恩師であり、昨年の世界選手権金メダルの文田健一郎選手の師で父でもある、藤崎工業高校レスリング部顧問文田敏郎先生が自らの指導を振り返って講演された。まず二人の試合のVTRを見ながらいかにして金メダルまでたどり着いたか詳しく解説していただいた。その中で指導方法「守破離」について説明された。師の教えを守り基礎基本をひたすら繰り返し型を体

得し、次に体得した型を破り自分の手法を確立すること。さらに守破を自分のオリジナルへと進化させ、師や流派から離れ独自性を発揮していく。これらの三段階を踏んでなおかつ基本を忘れるな、という規矩作法について明された。修業が進んでも最後には基礎基本の徹底こそが大切なのだと学んだ。



# 南都留支部研修会

## 報告

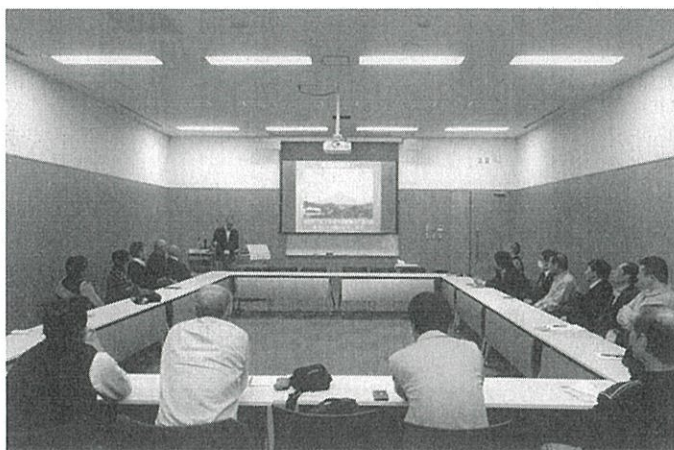
### ナショナルトレセン(NTC)を見学して

南都留支部「副支部長

渡邊 悟



南都留支部では、平成二十九年年度指導者研修会として、NTC、JISSで研修を積むことにした。平成二十年一月二十一日開所された日本における国際競技力の総合的な向上を図るトレーニング施設である。総括的には「ハイパフォーマンスセンター(HPC)」としてJISS(スポーツ科学部・メデイカルセンター)とNTCが協働して、スポーツ医科学情報サポート等を活用しながら高度・高質なトレーニング



を実施している。これらの施設においては本県出身のナショナルコーチ、ウエイト協会専務理事の小宮山哲雄氏、2年間のアメリカの大学でのコーチ研修を終えた、レスリングの米満達弘氏、JISS副センター長・メデイカルセンター長の奥脇透氏等が熱い指導や科学的な情報等の提供を行っている。

動作分析とレース分析によるもので、わずかな時間ではあるが科学的視点を理解することができた。国際競技力の向上を目指すことは選手・指導者等(コーチ・トレーナー・スポーツ医科学・管理栄養士等)がそれぞれ立場で国際戦略を考え、関係者が協働していく重要性をこの研修

今回はNTCの見学とともに特にHPC関連のハイパフォーマンス・サポート事業である陸上競技の四〇〇mRの「パトシ渡し」について研修した。これは、日本代表のリーダーメンバーが毎年富士北麓公園陸上競技場で合宿し、トレーニング

で実感できた。スポーツは医学の戦いと言われて久しい。そこに異論はないが、最後は選手・指導者が勝利への意欲と不断の努力、徹底した練習時間の確保と繰り返しの貫徹こそが重要と思う。俗に言われる指導者等関係者がプロ意識を持つこと。「世界はプロとプロの戦いである。」ことを再認識したことは私一人ではない。



平成二十九年 度

「山梨県スポーツ指導者協議会表彰」

指導者



飯島 文男 (ソフトボール上級指導員)



宮下 清史 (テニス上級指導員)



山梨県スポーツ指導者協議会

表彰を受賞して

南都留支部 監事 宮下 清史

(テニス上級指導員)

まず、はじめに、この度の受賞は所属支部や指導者への道しるべを与えて頂いた多くの皆様のお蔭と深く感謝を申し上げます。

かいじ国体は勿論、平成元年東京有明においてフェデレーションカップ等の審判委員をする機会に恵まれ、日本のトップや世界のトップを目の当たりにし、その姿に感動を得、テニス合宿のメッカではありますが、地域の普及に至っていない山中湖平野地区の有志に声を掛けあつて頂き、テニスをしてみたいと思う人を対象に教室を開いた。次第に希望者が集まりはじめ、子供達の参加も増し、ジュ

ニア教室も開いた。地元の人達に関心を持つ事が、合宿等に訪れる方々へのおもてなしにつながる。一人の指導者だけではなく、多くの協力者があつてこそ良き指導ができ、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことがスポーツ振興や普及に発展し、南都留支部の躍進につながると確信する。



平成二十九年 度

公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰

功勞表彰



日原 康 治 (ジュニアスポーツ指導員)



飯 島 文 男 (ソフトボール上級指導員)

日本体育協会公認  
スポーツ指導者等表彰を受賞して

笛吹支部 副支部長 飯 島 文 男

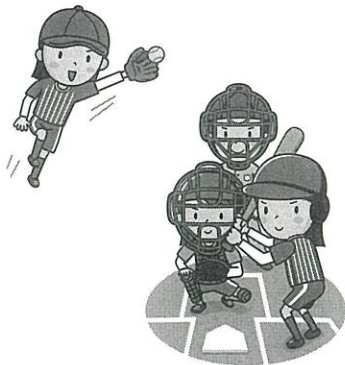
(ソフトボール上級指導員)

この度、平成二十九年 度公認スポーツ指導者全国表彰を頂き恐縮の思いで一杯である。推薦して頂いた県スポーツ指導者協議会笛吹支部、並びに県スポーツ指導者協議会、各関係機関の皆様方のお蔭と心から感謝申し上げます。

私がソフトボール上級指導者

となり、県外への派遣審判員として派遣された時は、山梨県の指導者としての誇りと勇気を持って臨んだ。不安もあったが、今までの先輩方からの御指導を受け審判に臨むので勇気百倍であった。これからも自分の健康づくりと、長寿命に心がけて行き、また、各研修会、各指導者

講習会に参加する中で、他の指導者との交流、情報交換を深め自分が指導者としての立場を忘れず、これからも努力し活躍していく所存である。最後に全国表彰での研修会の全体テーマは「あらためて考えるスポーツの価値」の中に三テーマあり、受講してよかったと思った。





## 平成29年度山梨県スポーツ指導者協議会事業報告

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成29年	4月8日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬中銀スタジアム 他
	4月19日(水)	平成28年度 会計監査	小瀬管理事務所会議室
	5月12日(金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月17日(水)	第1回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月10日(土)	平成29年度山梨県スポーツ指導者 協議会総会及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月14日(金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	7月19日(水)	第2回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月22日(金)	臨時執行部会	小瀬武道館第2会議室
	10月8日(日)	第2回研修会	富士川町民会館
	11月8日(水)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月15日(水)	第3回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	11月19日(日) 20日(月)	関東ブロックスポーツ指導者協議会 研修会	笛吹市石和町
	12月8日(金)	平成29年度全国スポーツ指導者連絡協議会 幹事会・全体会	TKP渋谷ガーデンシティ
	12月9日(土)	平成29年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	TKPガーデンシティ品川
平成30年	2月10日(土)	特別研修会	小瀬武道館第1会議室
	2月23日(金)	第4回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	2月25日(日)	第3回研修会	鐘山総合体育館
	2月28日(水)	第4回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月30日(金)	会報第28号発刊	

## 平成30年度山梨県スポーツ指導者協議会事業計画

年	月日(曜日)	事業名	会場等
平成30年	4月7日(土)	<協力事業> 山梨県スポーツ少年団フェスティバル	小瀬体育館
	5月11日(金)	第1回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	5月16日(水)	第1回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	6月9日(土)	平成30年度山梨県スポーツ指導者 協議会総会及び第1回研修会	小瀬武道館アリーナ
	7月13日(金)	第2回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	7月18日(水)	第2回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	9月	第2回研修会	笛吹・東山梨支部地区
	11月(予定)	特別研修会	未定
	11月9日(金)	第3回執行部会議	小瀬武道館第2会議室
	11月14日(水)	第3回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	12月7日(金)頃	平成30年度全国スポーツ指導者連絡協議会 幹事会・全体会	東京都
	12月8日(土)頃	平成30年度公認スポーツ指導者等 表彰式・全国研修会	東京都
平成31年	1月	第3回研修会	甲府・峡北支部地区
	2月22日(金)	第4回執行部会	小瀬武道館第2会議室
	2月27日(水)	第4回理事会 専門部会	小瀬武道館第1会議室
	3月下旬	会報第29号発刊	

# 小さな掛金、大きな補償 スポーツ安全保険

対象となる事故

団体活動中の事故/往復中の事故

保険期間

平成30年4月1日午前0時から  
平成31年3月31日午後12時まで

スポーツ安全協会

山梨県支部

(公財)山梨県体育協会内

TEL 055-243-3920

電話受付時間

午前9時～午後5時  
(土、日、祝日を除く)



4名以上の団体・グループで  
ご加入ください

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額					賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬送 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日あたり) (100円未満は 100円)	通院日額 (1日あたり) (300円未満は 300円)	事故の日からその日を含めて180日以内		
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の生徒を含む	スポーツ活動 文化活動 部活動・クラブ活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円	
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段:団体活動中およびその往復中の補償額 下段:上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000万円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円500万円)	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円	
大人 (高校生以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 ※右記年齢の判断は、「平成30年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	C (64歳以下)	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) △自動車事故によつて賠償責任を負った場合は、補償の対象なりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円	
	文化活動 部活動・クラブ活動 地域活動 準備・片付け・応接・団体の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となります。	B (65歳以上)	1,200円	600万円	900万円	1,800万円	1,000円			
	A2 A2区分は65歳以上の方も加入できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000万円	1,500円				
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800万円	1,000円			

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



保険の詳細内容、資料は、  
ホームページをご覧ください。  
※インターネットからも加入受付をおこなっています。

スポーツ安全保険 検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入のさいには、必ず「スポーツ安全保険のあらましおよび重要事項説明書」をお読み下さい。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引栄特専保険会社)  
東京海上日動火災保険株式会社  
担当課 公務第2部 文教公務課  
TEL 03-3515-4348(平日 9:00~17:00)

(共同引受保険会社(平成30年4月予定))  
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜  
大同火災 東京海上日動 日動火災 三井住友海上 AIG 損保

公認スポーツ指導者の  
**山梨県スポーツ指導者協議会**  
のホームページようこそ!

文字をクリックして下さい

関係団体

- 日本体育協会
- 山梨県体育協会
- 全国スポーツ指導者協議会
- 総合型地域スポーツクラブ
- 医科学委員会
- 地域支部

次事業案内

研修会

更新の為の義務研修会

会議及理事会

山梨県スポーツ指導者協議会  
第1回執行部会議  
平成30年5月11日

山梨県スポーツ指導者協議会  
第1回理事会  
平成30年5月16日

## 平成29年度 山梨県スポーツ指導者協議会 ～事業(活動)計画の遂行について～



山梨県スポーツ指導者協議会 会長 若尾重康

「山梨県スポーツ指導者協議会の目的(会則第3条)・・・県内におけるスポーツ指導者の意識を高揚し、指導者としての資質の向上と相互の連携を図り、県内スポーツの普及発展に寄与すること。」を念頭に下記の柱を立てました。

1. 県内スポーツ指導者の組織的指導体制の確立(第4条・15条)
  - ◎専門部会(3部会) ◎活動促進部会→登録指導者の資質の向上
    - ◎広報普及部会→ホームページの活用重視
    - ◎組織財源部会→北都留支部の復活・会員の増員、財源の確保
  - ◎支部(8支部) 峡北、峡中、峡南、甲府、笛吹、東山梨、南都留、北都留
2. 事業(主要計画)の完全実施
  - (1)義務研修会(8回)
    - 1) 6/10(土) 小瀬武道館
    - 2) 10/8(日) 富士川町民会館
    - 3) 30・2/25(日) 富士吉田・糠山総合体育館 スポーツ教室(施設名)
  - (2)指導者特別研修会 30・2/10(日) 小瀬武道館研修室
3. 指導者の活動支援・・・以前は活動促進部会で検討していましたが、現在は「山梨県広域スポーツセンター」くやまなし情報ネットスポーツ指導者バンク>

- 峡北支部 HP
- 峡中支部 HP
- 峡南支部 HP
- 甲府支部 HP
- 笛吹支部 HP
- 東山梨支部 HP

発行元  
**山梨県スポーツ指導者協議会**  
(事務局)

〒400-0836 山梨県甲府市小瀬町 840  
公益財団法人 山梨県体育協会内  
TEL 055-243-8588 / FAX 055-243-8599

あ  
と  
が  
き

会報は協議会の活動等を会員の皆様にお伝えするためのものです。スポーツ指導者に関係する情報がありましたら、事務局へ情報を提供してください。

編集：広報普及部